

事業所名	Happyテラスおかば教室 放課後デイサービス				公表日	2024年 10月 17日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		施設内はバリアフリーになっています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃を行い清潔な施設を心掛けている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		個別の部屋は用意されており、必要に応じて使用できるようになっていますが、他児童の使用状況。また、児童一人での使用は認められていない為、付き添いの職員が配置できない場合は個別の部屋を利用できない状況もあります。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		定期的な職員会議が必要だと感じています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年1回自己評価を実施し、業務改善を行っています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	児童の様子を伝えたり、改善案があればその都度意見交換を行っています。	定期的な職員会議が必要だと感じています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		会社として第三者による外部評価を行うかどうか検討中です。定期的に本部による視察、アドバイスを頂いています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・出来る限り研修を受けられるよう配慮いただいている。					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	利用児童には毎時間「サービス提供記録」を渡し、行ったトレーニング内容とその狙いを記載しています。また、SNSに動画、お便りに画像を使用して児童の取り組みを紹介しています。	HP上に年間プログラムの掲載がされていない為、現在作成中です。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児童と一緒に目標確認を行ったり、現在、頑張りたい事や将来に向けて本児童が目標にしている事があれば支援できるようにヒヤリングしています。保護者に対しても保護者のニーズを聞き取り、個別支援計画に反映しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6							
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎時間支援目標を確認し、評価をつけています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	行動観察等インフォーマルなアセスメントは毎時間記録しています。	公式のアセスメントツールは用意されており、職員研修も終了していますが、使用はまだされていません。今後使用していきます。				

事業所名	Happyテラスおかば教室 児童発達支援				公表日	2024年 10月 17日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		施設内はバリアフリーになっています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃を行い清潔な施設を心掛けている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		児童がバニクに陥った際にクールダウンできる決まった部屋は設けておりませんが、個別トレーニングの際はトレーニングルームでクールダウンを促し、集団トレーニング際は、必要に応じて空き教室でクールダウンを行うようしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3		業務改善が必要な時は職員会議を行うが、定期的に職員会議を行っていない状況の為、定期的な職員会議実施を旨します。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年1回自己評価を実施し、業務改善を行っています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	児童の様子を伝えたり、改善案があればその都度意見交換を行っています。	定期的な職員会議が必要だと感じています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		会社として第三者による外部評価を行うかどうか検討中です。定期的に本部による視察、アドバイスを頂いています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		1日中児童の来所があり、外部研修に行く時間を捻出しづらい状況だが、ZOOMや職員の勤務調整を行い、可能な限り研修を受けられるよう配慮いただいています。					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	利用児童には毎時間「サービス提供記録」を渡し、行ったトレーニング内容とその狙いを記載しています。また、SNSやお便りに動画や画像を使用して児童の取り組みを紹介しています。	HP上に年間プログラムの掲載がされていない為、現在作成中です。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎時間支援目標を確認し、評価をつけています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	行動観察等インフォーマルなアセスメントは毎時間記録しています。	社内的にフォーマルなアセスメントツールは用意されていますが、全ての児童に活用されてはいない状況です。職員間で使用ルールを決めて使用していきます。				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・定期的に職員間でプログラムを相談しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・会社で決められた年間テーマに沿ってトレーニング内容を考えているため、プログラムが固定されないよう工夫されています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			年度ごとにアンケートを保護者に実施し、個別と集団トレーニング、またはその両方を利用できるようにしています。個別トレーニングを利用されているお子様でも、同時に利用されている他児童との交流が出来る機会も設けています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			トレーニング前に職員間でトレーニングの申し送りを行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・日誌に記入し、必要なことは口頭でも伝えていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・毎回トレーニング後に各児童の評価を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・保護者よりお悩み事や相談を聞いて、変更が必要そうな場合は見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		・4つの活動のうち③地域交流の機会の提供は安全確保の点から現状では難しい状況です。安全確保が行えるよう職員で協議していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			・児童に選択させる課題を取り入れる等、自己決定の機会を与えています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		許可を頂いた学校や児童に対しては情報共有を行っており、定期的に関係機関連携を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		現状行えていません。園に療育を利用していると伝えていない保護者もあり、現在利用している学校との情報共有を優先している状況です。園との関係性を深め、情報共有を行えるように努力してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		現状該当者がいません。高3まで利用する児童が今の段階ではいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		・連携は行っていますが、スーパーバイズは受けていません。 ・勤務調整を行う等、出来る限り研修を受けています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・地域のイベントに参加できるよう、情報を集めていますが、現状実施できていません。地域の子供を招待したイベントが開催できないか検討中です。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・定期的に職員間でプログラムを相談しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・季節に合わせたトレーニング内容の考案と、年間の安全教育が計画されており、プログラムが固定化されないようになっています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			年度ごとにアンケートを保護者に実施し、個別と集団トレーニング、またはその両方を利用できるようにしています。個別トレーニングを利用されているお子様でも、同時に利用されている他児童との交流が出来る機会も設けています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			トレーニング前に職員間でトレーニングの申し送りを行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・日誌に記入し、必要なことは口頭でも伝えていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・毎回トレーニング後に各児童の評価を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・保護者よりお悩み事や相談を聞いて、変更が必要そうな場合は見直しを行っています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		・必要であれば準備は出来ています。 ・児童が利用している園から許可を頂ければ情報共有を行い連携しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		・必要であれば準備は出来ています。 ・希望される保護者の方には対応しています。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		・連携は行っていますが、スーパーバイズは受けていません。 ・勤務調整を行う等、出来る限り研修を受けています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		・地域のイベントに参加できるよう、情報を集めていますが、現状実施できていません。地域の子供を招待したイベントが開催できないか検討中です。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・意欲的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者が来所された場合は毎回行っています。来所されない場合でも、サービス提供記録にて児童の様子をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・事業所として家族が参加できる研修は行っていません。各市町村や県が行っている家族向けの研修の案内はしています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約時に説明を行い、変更があった場合は再度説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・トレーニング終了後にフィードバックを行い悩みや相談にも対応しています。 ・日々のトレーニング後のフィードバックにて家族等からの悩みなどに対し適切に対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		・現在利用している方からそのようなニーズがないように感じています。 ・交流する場を設けてはいませんが、SSTの際に保護者同士の関りは見られます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月発行しているお便りをおしゃれに工夫し、保護者に見たいと感じてもらえるようにしています。 ・SNSを毎日UPしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・お祭イベントや見学会を行う等事業所紹介を行っても良いかとは考え提案するが、安全面と個人情報の観点から不特定多数の地域住民を招待する事が難しい現状です。 ・障害者相談支援センターが実施するイベントに出店し、事業所紹介を行っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		・全マニュアルは準備できています。一部は教室に貼りだしています。 ・訓練計画を立て、毎年訓練を実施しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・3月と9月に避難訓練を全児童に行っています。
非 常 時 等	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・お問い合わせの際に確認しています。また、契約時にも再度確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4		・現在、該当者はいません。また食物を摂取する活動を行っていません。 ・契約時にアレルギーの有無と接触でのアレルギー反応がないかも確認しています。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者が来所された場合は毎回行っています。来所されない場合でも、サービス提供記録にて児童の様子をお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		・事業所として家族が参加できる研修は行っていません。各市町村や県が行っている家族向けの研修の案内はしています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約時に説明を行い、変更があった場合は再度説明を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・日ごろのトレーニング後でフィードバックにおいて保護者から悩み等に対し適切に対応しています。 ・トレーニング終了後にフィードバックを行い、悩みや相談にも対応しています。また、保護者からの質問に応じて詳しくお答えできる指導員に声掛けをすると言った工夫もしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・現在利用している方からそのようなニーズがないように感じています。 ・交流する場を設けてはいませんが、SSTの際に保護者同士の関りは見られます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月発行しているお便りをおしゃれに工夫し、保護者に見たいと感じてもらえるようにしています。 ・SNSを毎日UPしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・お祭イベントや見学会を行う等事業所紹介を行っても良いかとは考え提案するが、安全面と個人情報の観点から不特定多数の地域住民を招待する事が難しい現状です。 ・障害者相談支援センターが実施するイベントに出店し、事業所紹介を行っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		・全マニュアルは準備できています。一部は教室に貼りだしています。 ・訓練計画を立て、毎年訓練を実施しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・3月と9月に避難訓練を全児童に行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・お問い合わせの際に確認しています。また、契約時にも再度確認しています。	
非 常 時 等	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4		・現在、該当者はいません。また食物を摂取する活動を行っていません。 ・契約時にアレルギーの有無と接触でのアレルギー反応がないかも確認しています。

の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		・現在該当者がいません。

の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		現在該当者はいません。